

会 議 録

1 会議名

平成29年第3回阿賀野市福祉有償運送運営協議会

2 開催日時

平成30年3月27日（火） 午後2時00分から午後2時45分まで

3 開催場所

阿賀野市役所 第1多目的ホール

4 出席者（傍聴者を除く。）の氏名（敬称略）

- ・会 長：中山 明
 - ・委 員：安永美幸、山崎美千子、山口勝男、荒井小百合、武村康仁、星玲子、
櫻井美智枝
- （11人中8人出席）
- ・事 務 局：保科係長・渡辺主幹

5 議題（公開・非公開の別）

- （1）自家用有償旅客運送更新登録申請について（公開）
- （2）その他（公開）

6 非公開の理由

なし

7 傍聴者の数

0人

8 発言の内容

開会

（事務局）

定刻になりましたので、これより平成29年度第3回阿賀野市福祉有償運送運営協議会を開会させていただきます。

本会議は、阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき公開することとし、議事録は議事概要形式で、会長の確認を得て公開することとしたいので、ご了承願います。尚、会議録の公表にあたっては、自由闊達な議論が妨げられる恐れがあることから

氏名については明記しないことにしたいと思いますので合わせてご了承願います。

本日の出席者は11名中8名の出席を頂いております。過半数に達しておりますので、ご報告をさせていただきます。

はじめに、会長からご挨拶をお願いします。また、合わせて以後の進行もお願いいたします。

(会長)

今回は第3回目で、議事については更新登録の申請ということであります。年度末で皆さんお忙しいと思いますのでスピーディに進めたいと思います。それでは、早速議事に入ります。

(1) 自家用車有償旅客運送更新登録申請について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

次第の2ページ目になります。今回、社会福祉法人豊栄福社会居宅介護クローバーから更新の申請がありました。現在の有効期間は平成30年5月8日までとなっております。事業所は1ヶ月前までに新潟県に書類を提出しなければなりません。それに伴い、当市で協議会を開催し、協議が整った証明を送る必要があります。

それでは、ご説明をさせていただきます。

議事1の裏面をご覧ください。資料としては、1から19ページまで提出していた資料を添付してあります。1つ1つの説明は省略させていただき参考資料をもとに説明させていただきます。今回、協議会で合意が必要なことは、福祉有償運送が必要だということ、旅客から受ける対価について、その他確認事項としましては参考資料の記載のとおりです。前回と今回の比較を掲載させていただいております。ご覧いただければ分かるようにほとんど変更がない状況ですが、唯一変更になっているのが、車輛が1台増車になっているという部分だけであります。料金にいても、対価についても1キロ40円に変更ありません。事務局に提出があった資料を確認した結果すべての資料が添付されていることを確認したことをご報告させていただきます。簡単ですが以上ご説明を終わらせていただきます。

(会長)

事務局から説明、報告があったことについてご意見ご質問等はありませんらお願いします。

質問等がなければ更新登録申請について協議が整ったということによろしいでしょうか。

(全委員)

異議なし。

(会長)

それでは、協議が整ったということでその旨の文章を交付することといたします。続いて、2その他に移ります。

委員の皆さん何かありますでしょうか。

(A委員)

午前新発田市でとよさか福祉会の協議会がありまして、申請自体に問題はありませんがその他のことで協議会にとよさか福祉会の方がいたので事業を運営する上で困ったこと、新しく更新になった後にやってみたい事があれば聞かせてくださいという質問をしました。福祉会からは、職員、ヘルパーが不足しているし、もともと事業としては採算性をとるものではないので、特に運送については赤字になっていて移送ができなくなっているとの回答でした。意見交換のなかでタクシー、バスなどの専門に行っている移送事業者とそこでまかなえないから有償運送ということでみなさんご尽力なさっている。それでもまかなえなくなってこれから先本当に心配だと。いままでは国の進め方がよろしくなかったということでそれはなにかという縦割りだった。公共交通輸送そして福祉輸送を別に考えていた。ところが今は別に考える時代ではなく、人を運ぶということは、福祉も公共交通の中に入れていくことで全体的なプランを立てていかなければいけないです。などと意見交換をしました。新発田市にもお願いしたのですが、まず、いろんな立場の方が集まっていろんな意見を言い合える場所を設定していただいて、そこで出てきた意見を踏まえて改善とか問題解決のヒントになるのではないかと思います。特に行政にまかせるだけでなく、地域のみなさんが一緒になって考えていくことによって少しは切り開ければとお話をさせていただきました。今日に限らず何回か阿賀野市におじゃまして更新協議があるたびに意見交換させてもらってそれぞれの団体さんで運営が難しくなっている。隣接する新潟市の団体のお力をかりたり色々あるのですがそれも難しくなっている。より本当に真剣に考えてもいけないなと思っている。国の助成ができればいいのですが、なかなか助成できるメニューない中でみんなで知恵を出し合って、その中に我々も是非入れていただいて一緒に考えていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

(会長)

大変よいお話を聞かせていただきありがとうございました。

その他なにか委員の皆さんなにかありますでしょうか。

(B委員)

事業者の方でどういう目的でどこに行っているのか、利用者がどんなことに有償運送を使う目的をもっているのか、というところを一緒に話し合えたら、こういう目的で多く使うんだなと情報を把握でき共有できればもう少し意見が出てきて、こういう部分でこういうサービスが利用できないかとか話し合いの話題の一つになるのではないのかなとお話を聞いて思いました。

(会長)

色々なお話ができるといいですね。私たち社会福祉協議会では、ほとんど病院がメインですが。後見人さんがついている方もいますし、様々なので、そういった方々の

お話が聞ければこちらもいろいろと展開できるかなと思います。

(C委員)

おれんじぼーとでは利用者の余暇支援という形で使われている方が多いです。土日の申し込みが多いですが、日中毎回お家で過ごすのはやはりちょっとという方や、社会性を身につける目的で、ヘルパーが家に迎えに行き、映画に行く方もいますし、プールに行く方もいます。体を動かすために散歩をしたり、体育館で運動したり、という方で皆さんそれぞれに希望があって、メニューをこなしています。やはり、行動援護の方が多く、その時その時の場面で上手くヘルパーが支援をしないとなかなか行動できないのでヘルパーの支援が多くて専門性が必要な方が多くなっているのが現状になっている。

(A委員)

男性のヘルパーさんがいなくて大変だと聞いていますが。

(C委員)

そうですね。プールなどの介助は大変で男性のヘルパーが少ないです。ヘルパー自体が少なくなっているので、やりたいのですが、やってあげれないというところが苦しい所ですね。

(D委員)

息子がおれんじぼーとにお世話になっていて、月に一回新潟市がメインで小さい時からお願いしています。利用する立場では、平日は作業所に行っているのですが、土日は休みで、土日は混み合っているので集中して使えない、どうしても5日働かなくてもいいので平日に行ければもう少し余裕があるかなと思いますが、就労として登録してあるので重なった利用はできないということなので平日は使えない。作業所の終わった時間となると小学生の送迎とかに利用が集中して使えない。平日の昼間であればスタッフももう少し柔軟におけるといってお話をききました。いろんなことを踏まえた事情ですと、福祉有償運送だけではない、サービスの重なった部分も使えるというふうにしてもらうともう少し社会が広がるといいますし、期待するところで、お願いしたい所です。

(E委員)

タクシー会社でも福祉運送をやっていますが、主に月曜から金曜の病院が開業している時には自宅から病院、病院から施設に運送していますが、運転手が不足している。福祉となると、乗せ換えたり、部屋まで病室まで連れていったりと時間がかかる。対価も相当高いですが、その面で会社としてもなかなか難しい面がある。最近ではそういう人数が増えていますが、人員が足りなくて対応がしきれない。タクシーそのもの仕事がおろそかになる。大変お客様に迷惑をかけています。1日3台位しか動かないのでお客様に迷惑をかけている状態です。タクシー会社は営利を目的にしているのです。皆さんとは違う立場ですが、一言お伝えします。

(会長)

その他ございませんか。

他になければ、本日の運営協議会をこれで終了させていただきます。大変ありがとうございました。